

令和7年度

研修事業実施要項

目次		頁
母子愛育会主催 令和7年度研修事業一覧表		
研修会申込み・受講要領		1
地域母子保健研修会	1. 新任期におさえない母子保健の基礎知識	2
	2. 地域栄養活動～妊産婦から子ども～	3
	3. 子どもにライフスキルを伝える包括的セクシャリティ教育を学ぶ	4
	4. 子ども虐待予防（支援が必要な養育者の理解）	5
	5. 周産期のメンタルヘルスと切れ目のない支援	6
	6. 支援が必要な子どもの保健指導（低出生体重児・医ケア・発達障害）	7
	7. 多機関連携による要保護・要支援児童、特定妊婦の支援	8
	8. 母子保健と児童福祉の連携-子ども虐待予防-	9
医療従事者向け研修会	NICU～周産期看護研修会～	10
	産科編～周産期看護研修会～	11
愛育セミナー	愛育セミナー2025	12
	リバイバル配信 2023&2024《愛育セミナー》	13
	リバイバル配信 2024《愛育セミナー》	13
母子愛育会への交通機関		

社会福祉法人 恩賜財団母子愛育会

母子愛育会 令和7年度研修事業一覧

研修会の名称と主題	対象	開催日	申込開始日	申込締切日
-----------	----	-----	-------	-------

★地域母子保健研修会 【定員】会場 50名 /Web 60名

【受講料】3日間：36,850円(税込) 2日間：28,600円(税込) 1日：14,300円(税込)

※資料については各ページにてご確認ください。

1.新任期におさえない母子保健の基礎知識	母子保健業務に従事する新任期の保健師・助産師・看護師・保育士等	令和7年6月11日(水)～6月13日(金) (3日間研修)	4/7(月)	5/2(金)
2.地域栄養活動～妊産婦から子ども～	管理栄養士・栄養士 等	令和7年7月2日(水)～7月3日(木) (2日間研修)	5/7(水)	5/23(金)
3.子どもにライフスキルを伝える 包括的セクシャリティ教育を学ぶ	母子保健・児童福祉に従事する保健師・助産師・看護師、保育士、社会福祉士、心理士等	令和7年8月20日(水) (1日研修)	6/30(月)	7/18(金)
4.子ども虐待予防 (支援が必要な養育者の理解)	母子保健分野、児童家庭分野、児童相談所等に勤務する保健師・助産師・看護師・保育士・心理士・社会福祉士 等	令和7年9月9日(火)～9月10日(水) (2日間研修)	7/7(月)	7/25(金)
5.周産期のメンタルヘルスと切れ目のない支援	母子保健分野、児童家庭母子保健分野、児童家庭分野、児童相談所等に勤務する保健、助産師・看護師・保育士・社会福祉士・心理士等	令和7年10月8日(水)～10月9日(木) (2日間研修)	8/12(火)	8/29(金)
6.支援が必要な子どもの保健指導 (低出生体重児・医ケア・発達障害)	母子保健分野、周産期看護、在宅医療等に従事する保健師・助産師・看護師・保育士・心理士等	令和7年12月10日(水)～12月11日(木) (2日間研修)	10/6(月)	10/24(金)
7.多機関連携による要保護・要支援児童、 特定妊婦の支援	母子保健分野、児童家庭母子保健分野、児童家庭分野、児童相談所等に勤務する保健、助産師・看護師・保育士・社会福祉士・心理士等	令和8年1月15日(木)～1月16日(金) (2日間研修)	11/17(月)	12/5(金)
8.母子保健と児童福祉の連携 -子ども虐待予防-	母子保健・児童福祉に従事する保健師・助産師・看護師、保育士、社会福祉士、心理士等	令和8年2月5日(木)～2月6日(金) (2日間研修)	12/1(月)	12/19(金)

★医療従事者向け研修会 【定員】会場 50名 / Web 60名

【受講料】3日間：36,850円(税込) 2日間：28,600円(税込)

※資料については各ページにてご確認ください。

NICU～周産期看護研修会～	助産師・看護師・保健師等	令和7年7月23日(水)～7月25日(金) (3日間研修)	5/12(月)	5/30(金)
産科～周産期看護研修会～	助産師・看護師・保健師等	令和7年8月21日(木)～8月22日(金) (2日間研修)	6/30(月)	7/18(金)

☆愛育セミナー2025

2025年度 愛育セミナー 【受講料】14,300円(税込)

※資料についてはダウンロード

地域母子保健研修会3 子どもにライフスキルを伝える 包括的セクシャリティ教育を学ぶ	母子保健・児童福祉に従事する保健師・助産師・看護師、保育士、社会福祉士、心理士等	未定	未定	未定
---	--	----	----	----

リバイバル配信2023年&2024年 ※団体のみ【配信時間】60～90分予定 【受講料】22,000円(税込)

周産期メンタルヘルスセミナー/齊藤知見先生 (60分)	母子保健分野、児童家庭分野、児童相談所等に勤務する保健師・助産師・看護師・保育士・心理士・社会福祉士 等	令和7年5月12日(月)12時 ～令和7年12月19日(金)15時	4/1(火)	12/1(月)
よくかかる病気と予防接種/浦島崇先生 (60分)				
発達特性による困りを抱えた様子への支援Ⅰ /伊藤康先生 (60分)				
発達特性による困りを抱えた様子への支援Ⅱ /伊藤康先生 (60分)				
子どもの心の病(発達障害を含む)とその治療・支援 の理解/齊藤 万比古 先生				

リバイバル配信 2024年【配信時間】60～90分/本 【受講料】8,800円(税込)

周産期メンタルヘルスセミナー/齊藤知見先生 (60分)	母子保健分野、児童家庭分野、児童相談所等に勤務する保健師・助産師・看護師・保育士・心理士・社会福祉士 等	令和7年10月31日(金)10時 ～令和8年3月6日(金)15時	9/1(月)	2026年 2/2(月)
よくかかる病気と予防接種/浦島崇先生 (60分)				
発達特性による困りを抱えた様子への支援/伊藤康先生 (60分)				

★印研修会は、会場とWebのハイブリット形式で行います。研修会場は、母子愛育会研修室(東京都港区南麻布5-6-8)です。Webについては、ビデオツール「Zoom(ウェビナー)」によるライブ配信となります。

最新の情報は当会ホームページ(<https://boshiaiikukai.jp/>) 研修部のページにて随時更新いたしますのでご確認ください。

研修会申込み・受講要領

1. 申 込 方 法	<p>1) 本会ホームページ（研修部のページ）上の各研修会申込フォームよりお申込みください。先着順に受付いたします。</p> <p>2) Web 受講（ビデオツール「Zoom（ウェビナー）」によるライブ配信）については、同一ご所属先から複数名参加を希望される場合も、お一人ずつお申込みください。</p>
2. 受 講 決 定	<p>1) 申込み締切日より 10 日を目途に受講決定のメールをお送りいたします。定員の都合等で受講いただけない場合は、速やかにご連絡いたします。</p> <p>2) 申込み締切日を過ぎても定員に達していない場合は、申込みを受け付けいたしますので、お問い合わせください。</p>
3. 受 講 料	<p>1) 詳細は受講決定メールをご覧ください。メールに記載の振り込み期間内にお振り込みください。振込手数料はご負担ください。</p>
4. 請 求 書 等	<p>1) 請求書が必要な方は、所属の様式で作成し、本会会計課あてに返信用封筒（84 円切手貼付）同封のうえ郵送してください。押印不要の場合はメール（keiri@aiiku.or.jp）にて送付をお願いいたします。</p> <p>2) 領収書については、振込時に発行される控えを領収書としております。原則、新たに発行することは致しかねますので研修会当日までに大切に保管していただきますようお願いいたします。</p>
4. キャンセル	<p>1) 受講をキャンセルする場合は、別途お知らせする振込日までにご連絡ください。</p> <p>2) <u>受講料お振込み後の受講キャンセルについては、受講料を返金できませんので予めご了承ください。</u>受講者変更希望される方につきましてはご相談ください。</p>
5. 会 場	<p>社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 4階研修室 <住 所> 〒106-8580 東京都港区南麻布5丁目6番8号 <最寄駅> 東京メトロ日比谷線広尾駅（徒歩約8分）</p>
6. 申込み・問合せ	<p>社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 研修部 <電 話> 03(3473)8335 <FAX> 03(3473)8454 <住 所> 同上の会場と同じ <E-mail> kenshu@aiiku.or.jp <ホームページ> https://boshiaiikukai.jp/</p>
7. そ の 他	<p>1) 研修会の科目等は予定であり、都合により変更させて頂く場合もありますのでご了承ください。</p> <p>2) 研修内容の講師所属・役職名等は令和7年3月現在のものです。</p> <p>3) 研修会日程表等は決定次第、ホームページに掲載いたしますのでご覧ください。</p>

地域母子保健研修会 1.

「新任期におさえない母子保健の基礎知識」

1. 目的 乳幼児期の発育・発達の基本的知識とともに育児上の問題やその支援について学び乳幼児健診や家庭訪問等の日々の業務に活かします。
また、プレコンセプションケアの基本的な知識を得ることを目的とします。
2. 日程 令和7年6月11日(水)～6月13日(金) ≪申込期間 4月7日(月)～5月2日(金)≫
3. 対象 母子保健業務に従事する新任期の保健師・助産師・看護師・保育士等
4. 定員 会場：50名 / Web：60名
5. 料金 会場：36,850円(税込)
Web：37,280円(税込)※WEB受講生のみ資料郵送代430円ご負担いただきます。
6. 講義時間 1講義：80分(講義70分、質疑応答10分)
7. 研修内容(予定) ホームページ (<http://www.boshiaiikukai.jp/>) でご覧いただけます。

R7.3.1 現在

月日	時間	内容	講師	
6/11 (水)	9:55～	オリエンテーション 愛育班の歩みについて	山崎 由美	母子愛育会研修部長・愛育推進部長
	10:30～11:50	アレルギー疾患とスキンケア	大矢 幸弘	名古屋市立大学大学院医学研究科 環境労働衛生学 特任教授
	12:50～14:10	関わりの難しい親子の対応	三浦 幸子	訪問心理相談室みうら 心身障害児総合医療療育センター 臨床心理士・公認心理師
	14:25～15:45	子ども虐待早期発見と対応、 地域と医療の機関連携、多職種連携	仙田 昌義	総合病院国保旭中央病院 小児科 部長
6/12 (木)	9:30～10:15	グループワーク		
	10:30～11:50	健診での発達確認・将来を見据えた指導 乳幼児期の発達段階に合わせた親支援 (CAREプログラムを中心に)	高木 一江	横浜リハビリテーションクリニック ミューザ川崎こどもクリニック
	12:50～14:10	乳幼児期の食生活と食物アレルギー	太田百合子	東洋大学 福祉社会デザイン学部非常勤講師
	14:25～15:45	新生児聴覚スクリーニングと 乳幼児健診の重要性・小児難聴	有本友季子	千葉県こども病院 診療部 耳鼻咽喉科 部長
6/13 (金)	9:45～11:05	乳幼児健診後の子どもの育ちの支援	山口 直人	川崎市北部地域療育センターセンター長 神奈川県立こども医療センター新生児科
	11:20～12:40	子ども虐待予防に向けた保健師の家庭訪問による支援	鈴木 浩子	昭和医科大学 保健医療学部看護学科 教授
	13:40～15:00	包括的セクシャリティ教育 (プレコンセプションケア)	長坂 桂子	京都橘大学 看護学部 准教授・母性看護専門看護師

地域母子保健研修会 2.

「地域栄養活動～妊産婦から子ども～」

1. 目的 栄養、食生活をめぐる地域栄養活動の方向性と栄養士の役割を理解するとともに、食育への取り組み、生活習慣病の予防に向けた最新の知識を学びます。
2. 日程 令和7年7月2日(水)～7月3日(木) 《申込期間 5月7日(水)～5月23日(金)》
3. 対象 管理栄養士・栄養士 等
4. 定員 会場：50名 / Web：60名
5. 料金 会場：28,600円(税込)
Web：29,030円(税込)※WEB受講生のみ資料郵送代430円ご負担いただきます。
6. 講義時間 1講義：80分(講義70分、質疑応答10分)
7. 研修内容(予定) ホームページ (<http://www.boshiaiikukai.jp/>) でご覧いただけます。

R7.3.1 現在

月日	時間	内容	講師	
7/2 (水)	10:00～	オリエンテーション 愛育班の歩みについて	山崎 由美	母子愛育会研修部長・愛育推進部長 (保健師)
	10:30～11:50	偏食外来の実践から学ぶ 乳幼児健診での栄養士の役割(ZOOM)	大山 牧子	神奈川県立 こども医療センター新生児科 偏食外来担当医
	12:50～14:10	発達障害児の食事について	藤井 葉子	ひまわり歯科 管理栄養士
	14:25～15:45	口腔機能発達からみる子どもの食行動	元開 富士雄	げんかい歯科医院 院長 NPO 法人口腔健康増進協会サークル げんかい歯科医院 代表
7/3 (水)	9:15～10:35	食を通じた妊産婦の健康支援	堤 ちはる	相模女子大学 栄養科学部健康栄養学科 特任教授
	10:50～12:10	胎内環境と生活習慣病のリスク	長野 伸彦	日本大学医学部附属板橋病院 小児科学系小児科学分野 准教授
	13:10～14:30	家庭に向けた食育のすすめと生活習慣病予防	太田 百合子	東洋大学 福祉社会デザイン学部非常勤講師
	14:45～15:30	グループワーク		

地域母子保健研修会 3.

「子どもにライフスキルを伝える包括的セクシャリティ教育を学ぶ」

1. 目的 望まない妊娠や出産、若年妊娠、子どもの性被害、など母子保健や児童福祉で
出会う傷ついた若者は包括的性教育を学ぶ機会があったら予防できたのではないかと
子どもに健康とウェルビーイング（幸福）を選択する知識とスキルを伝えるために
保健、福祉、医療の立場で何ができるかを学びます。
2. 日程 令和7年8月20日(水) ≪申込期間 6月30日(月)～7月18日(金)≫
3. 対象 母子保健・児童福祉に従事する保健師・助産師・看護師、保育士社会福祉士
心理士、教員等
4. 定員 会場：50名 ※Web配信は行いません。
5. 料金 14,300円（税込） ※資料は各自ダウンロード
6. 講義時間 1講義：80分（講義70分、質疑応答10分）
7. 研修内容(予定) ホームページ (<http://www.boshiaiikukai.jp/>) でご覧いただけます。

R7.3.1 現在

月日	時間	内容	講師	
8/20 (水)	9:15～10:35	包括的性教育 包括的性教育を、地域で・家庭で・学校で！	高橋幸子	埼玉医科大学 産婦人科医師 医療人育成支援センター 地域医学推進センター助教
	10:50～12:10	プレコン 未来を守る、プレコンセプションケアとは		
	13:10～14:30	まるっとまなブック まるっとまなブックの活用法を考える		
	14:45～16:10	子どもへの性虐待、 性被害の医療者の取り組み	栗原八千代	聖マリアンナ医科大学小児科 助教

※当研修会は後日オンデマンド配信を行うため、Web受講枠は設けません。

オンデマンド配信のみ希望される方は、P.12「2025年度 愛育セミナー事業」をご覧ください。

会場受講生につきましては、オンデマンド配信の視聴もご利用いただけます。

地域母子保健研修会 4.

「子ども虐待予防（支援が必要な養育者の理解）」

1. 目的 子ども虐待防止から虐待予防へ。母子保健に期待される予防に取り組むために、虐待の発生機序や、虐待が子どもにもたらす影響などを知り、養育者への共感性のある切れ目のない支援について学びを深めます。
2. 日程 令和7年9月9日(火)～9月10日(水) 《申込期間 7月7日(月)～7月25日(金)》
3. 対象 母子保健分野、児童家庭分野、児童相談所等に勤務する保健師・助産師・看護師
保育士・心理士・社会福祉士 等
4. 定員 会場：50名 / Web：60名
5. 料金 会場：28,600円(税込)
Web：29,030円(税込)※WEB受講生のみ資料郵送代430円ご負担いただきます。
6. 講義時間 1講義：80分（講義70分、質疑応答10分）
7. 研修内容(予定) ホームページ (<http://www.boshiaiikukai.jp/>) でご覧いただけます。

R7.3.1 現在

月日	時間	内容	講師	
9/9 (火)	10:00～	オリエンテーション 愛育班の歩みについて	山崎由美	母子愛育会研修部長・愛育推進部長 (保健師)
	10:30～11:50	母子保健の果たす役割／最近の動向と子ども 虐待予防の支援者に求められる支援技術とは	荒木田美香子	川崎市立看護大学看護学部 副学長
	12:50～14:10	子ども虐待の社会的対応への 医療の取り組み	栗原八千代	聖マリアンナ医科大学小児科 助教
	14:25～15:35	特定妊婦への支援の実際 ～プレコンセプションケアを視野に入れて～	藤尾静枝	支援者のための研究室 悠 室長
	15:45～16:30	模擬事例検討会「問題解決しない事例検討会」		
9/10 (水)	9:15～10:35	子どもの心の発達から考える虐待予防支援	田中 哲	子どもと家族のメンタルクリニック やまねこ院長
	10:50～12:10	養育者の理解 関係性のとりにくい対象者の支援	山口 貴史	愛育クリニック医療福祉室 臨床心理士/公認心理師
	13:10～14:30	虐待の世代間連鎖を予防する保健師活動	鷲山 拓男	とよたまこころの診療所 精神科 診療所長

地域母子保健研修会 5.

「周産期のメンタルヘルスと切れ目のない支援」

CLoCMiP 選択研修対象となります。

1. 目的 妊娠期・周産期の養育者の精神的な不調や、社会的ハイリスク妊婦の把握から切れ目のない支援においては、母子保健と周産期医療の連携は不可欠です。周産期うつに関するリスク要因や、具体的な支援方法を理解し、医療機関と行政の連携構築のあり方について学びます。
2. 日程 令和7年10月8日(水)～10月9日(木) ≪申込期間 8月12日(火)～8月29日(金)≫
3. 対象 母子保健分野、児童家庭母子保健分野、児童家庭分野、児童相談所等に勤務する保健師助産師・看護師・保育士・社会福祉士・心理士等
4. 定員 会場：50名 / Web：60名
5. 料金 会場：28,600円(税込)
Web：29,030円(税込) ※WEB受講生のみ資料郵送代430円ご負担いただきます。
6. 講義時間 1講義：80分(講義70分、質疑応答10分)
7. 研修内容(予定) ホームページ (<http://www.boshiaiikukai.jp/>) でご覧いただけます。

R7.3.1 現在

月日	時間	内容	講師	
10/8 (水)	10:00～	オリエンテーション 愛育班の歩みについて	山崎 由美	母子愛育会研修部長・愛育推進部長 (保健師)
	10:30～11:50	周産期メンタルヘルスケア体制の構築	川井 梨沙	大分県福祉保健部こども未来課 母子保健班 課長補佐
	12:50～14:10	周産期医療現場での妊産婦支援と虐待予防の 取り組み	和田 聡子	大阪母子医療センター看護部 母性棟棟 看護師長
	14:25～15:45	妊産婦との面接・コミュニケーション スキル研修	齋藤 知見	クリニック周産期メンタルヘルス科 副部長
10/9 (木)	9:30～10:15	グループワーク		
	10:30～11:50	周産期からの子ども虐待予防 保健・医療・福祉の 連携支援体制	相川 祐里	済生会横浜市東部病院 こころのケアセンター 心理室 課長
	12:50～14:10	妊娠期からの父親・母親支援	新井 陽子	群馬大学大学院保健学研究科 看護学講座(母性看護学・助産学) 教授
	14:25～15:45	周産期の精神科治療の実際と多職種連携による 支援(予定)	立花 良之	東京都立中部総合精神保健福祉センター 広報援助課 課長代理

地域母子保健研修会 6.

「支援が必要な子どもの保健指導（低出生体重児・医ケア・発達障害）」

1. 目的 小児医療の高度化で、医療依存度の高い子どもの増加や、発達障害など支援を必要とする子どもと家庭が増加しています。多職種による在宅医療や地域支援の必要性について理解を深めます。
2. 日程 令和7年12月10日(水)～12月11日(木)《申込期間10月6日(月)～10月24日(金)》
3. 対象 母子保健分野、周産期看護、在宅医療等に従事する保健師・助産師・看護師
保育士・心理士等
4. 定員 会場：50名 / Web：60名
5. 料金 会場：28,600円(税込)
Web：29,030円(税込)※WEB受講生のみ資料郵送代430円ご負担いただきます。
6. 講義時間 1講義：80分（講義70分、質疑応答10分）
7. 研修内容(予定) ホームページ (<http://www.boshiaiikukai.jp/>) でご覧いただけます。

R7.3.1 現在

月日	時間	内容	講師	
12/10 (水)	10:00～	オリエンテーション 愛育班の歩みについて	山崎 由美	母子愛育会研修部長・愛育推進部長 (保健師)
	10:40～12:00	医療依存度の高い小児と 家族を支える在宅医療	前田 裕利	医療法人財団はるたか会理事長 あおぞら診療所
	13:00～14:20	極低出生体重児の成長・発達、 NICUの現場から	豊島 勝昭	神奈川県立こども医療センター 周産期医療センター新生児科 周産期医療センター長
	14:35～15:55	発達障害を持つ子ども達の育ちを支援する	岡田 俊	奈良県立医科大学 精神医学講座 教授
12/11 (木)	9:30～10:15	グループワーク		
	10:30～11:50	医ケアが必要な子どもたちの家族支援	三浦 幸子	訪問心理相談室みうら 心身障害児総合医療療育センター (臨床心理士・公認心理師)
	13:00～14:20	医療的ケア児の在宅生活を支える	小川 一枝	杉並区役所 保健福祉部障害者施策課 医療的ケア児等コーディネーター
	14:35～15:55	幼児期の発達障害	小枝 達也	鳥取県立総合療育センター 院長代理

地域母子保健研修会 7.

「多機関連携による要保護・要支援児童、特定妊婦の支援」

1. 目的 子育て世代に対する包括的な支援体制の強化として、母子保健と児童福祉部門を一体化した「こども家庭センター」の市町村への設置が求められています。虐待の発生予防を担う母子保健担当と、児童虐待相談対応や要対協の担当部署が強みを生かし、伸びしろのある支援を展開できるよう、虐待された子どもやその親の理解を深めます。
2. 日程 令和8年1月15日(木)～1月16日(金)《申込期間 11月17日(月)～12月5日(金)》
3. 対象 母子保健分野、児童家庭母子保健分野、児童家庭分野、児童相談所等に勤務する保健師、助産師・看護師・保育士・社会福祉士・心理士等
4. 定員 会場：50名 / Web：60名
5. 料金 会場：28,600円(税込)
Web：29,030円(税込)※WEB受講生のみ資料郵送代430円ご負担いただきます。
6. 講義時間 1講義：80分(講義70分、質疑応答10分)
7. 講師一覧 日程表については、決まり次第ホームページにてお知らせいたします。

R7.3.1 現在

内 容	講 師	
児童虐待防止対策について 母子保健・児童福祉行政の最近の動向	笠 真由美	こども家庭庁支援局虐待防止対策課 事例分析指導専門官
事例から学ぶ関係機関との協働・重篤事例、要保護児童対策 地域協議会の運営を含む	宮 島 清	社会福祉士 (子ども家庭福祉、ソーシャルワーク)
特定妊婦の地域支援 医療・福祉・保健の連携	上 野 昌 江	四天王寺大学看護学部 看護学研究科 教授
被虐待児の心の傷つき	菊 地 祐 子	子どもと家族のメンタルクリニック やまねこ
子ども虐待早期発見と対応、地域と医療の機関連携、 多職種連携	溝 口 史 剛	前橋赤十字病院 小児科
DV と子どもの虐待対応の理解と対応	森 田 展 彰	筑波大学大学院 社会精神保健学分野 准教授
グループワーク	山 崎 由 美	母子愛育会研修部長・愛育推進部長 (保健師)

地域母子保健研修会 8.

「母子保健と児童福祉の連携-子ども虐待予防-」

1. 目的 地域における子育て家庭の支援強化のため「こども家庭センター」の設置がすすんでいます。虐待の発生機序を学び、予防的に支援する母子保健と、リスクアセスメントで子どもの権利と命を守る児童福祉のそれぞれの機能が十分に確立され、良好な協働関係を構築することが求められています。子ども虐待の発生予防や、養育者への共感性のある支援の有効性を学びます。
2. 日程 令和8年2月5日(木)～2月6日(金)《申込期間12月1日(月)～12月19日(金)》
3. 対象 母子保健・児童福祉に従事する保健師・助産師・看護師、保育士
社会福祉士、心理士等
4. 定員 会場：50名 / Web：60名
5. 料金 会場：28,600円(税込)
Web：29,030円(税込)※WEB受講生のみ資料郵送代430円ご負担いただきます。
6. 講義時間 1講義：80分(講義70分、質疑応答10分)
7. 講師一覧 日程表については、決まり次第ホームページにてお知らせいたします。

R7.3.1 現在

内 容	講 師	
児童虐待防止対策について ～母子保健・児童福祉行政の最近の動向～	笠 真由美	こども家庭庁支援局虐待防止対策課 事例分析指導専門官
要対協、児童相談所との連携と 母子保健に求められる役割とは	石井由美子	世田谷区児童相談所 児童相談課地域支援担当副係長
子ども虐待早期発見と対応、 地域医療の機関連携、多職種連携	小橋孝介	鴨川市立国保病院 病院長
虐待死を予防する母子保健の役割 重篤事例検証報告から学ぶ	有本 梓 (予定)	横浜市立大学医学部看護看護学科 大学院医学研究科看護学専攻 教授
母子保健から児童福祉へ ーリスクアセスメントシートを活用した共有ー	帯包エリカ	国立成育医療センター社会医学研究部 上級研究員
家庭支援センターにおける予防型支援体制の強化 事例から学ぶ(グループワーク)	上野昌江	四天王寺大学看護学部 看護学研究科 教授

NICU～周産期看護研修会～

CLoCMiP 選択研修対象となります。

1. 目的 NICU 入院児の特徴、病態生理を知り、先進医療における看護師の役割を理解し、特に早産児に対する看護実践の知識と技術について、NICU 入院前から退院、在宅医療への移行等の継続看護などについて学びます。また、心理的危機状態にある新生児の親に対する、チームでの支援等について知り、実践に活かす方法を考える機会とします。
2. 日程 令和 7 年 7 月 23 日(水) ～ 7 月 25 日(金) ≪申込期間 5 月 12 日(月)～5 月 30 日(金)≫
3. 対象 助産師・看護師・保育士等
4. 定員 会場：50 名 / Web：60 名
5. 料金 受講料：36,850 円（税込）※会場受講、Web 受講どちらも同額です。
6. その他 資料は当ホームページから各自ダウンロード
7. 研修内容(予定)

R7.3.1 現在

月日	時間	内容	講師	
7/23 (水)	10:15～	オリエンテーション	山崎 由美	母子愛育会研修部長・愛育推進部長
	10:30～11:50	新生児の循環障害と管理の実際	長谷川久弥	東京女子医科大学付属足立医療センター 新生児科 特任教授
	12:50～14:10	NICU における心理サポートとグリーフケア	橋本 洋子	一般社団法人 山王教育研究所 臨床心理士・公認心理師
	14:25～15:45	新生児の循環障害と管理の実際	豊島 勝昭	神奈川県立こども医療センター 周産期医療センター長 新生児科部長
7/24 (木)	9:30～10:50	NICU 看護の実際 デベロップメンタルケア FCC	斎藤 香織	神奈川県立こども医療センター 看護局 主任看護師
	11:05～12:00	グループワーク	斎藤 香織	同上
			黒田 晶子	愛育病院 看護部 NICU/GCU 主任
	13:00～14:20	低出生体重児の発育発達フォローアップと NICU 退院児の在宅移行支援	九島 令子	都立墨東病院新生児科 部長
14:35～15:55	低出生体重児のスキンケア	保刈 伸代	東邦大学医療センター 皮膚・排泄ケア 認定看護師	
7/25 (金)	10:00～11:20	NICU における母乳育児	山口 直人	川崎市北部地域療育センター 所長
	12:20～13:40	熊本地震から学ぶ NICU の災害対策	川瀬 昭彦	熊本市立熊本市市民病院 新生児内科
	13:55～15:15	NICU における感染制御～予防と発生の対応～	坂木 晴世	国際医療福祉大学大学院 看護学分野 准教授

産科～周産期看護研修会～

CLoCMiP 選択研修対象となります。

1. 目的 妊娠から産後ケア、育児支援を継続的に提供するために必要な治療とケアの最新情報を学び、支援の力を高めます。妊娠期から子育て期までの支援を切れ目なく提供し、妊産婦等の孤立感や負担感を無くすために地域との協力を強化する方法を学びます。
2. 日程 令和7年8月21日(木)～8月22日(金) ≪申込期間 6月30日(月)～7月18日(金)≫
3. 対象 助産師・看護師・保育士等
4. 定員 会場：50名 / Web：60名
5. 料金 受講料：28,600円(税込) ※会場受講、Web受講どちらも同額です。
6. その他 資料は当ホームページから各自ダウンロード
7. 研修内容(予定)

R7.3.1 現在

月日	時間	内容	講師	
8/21 (木)	9:45～	オリエンテーション	山崎由美	母子愛育会研修部長・愛育推進部長
	9:50～11:10	プレコンセプションケア	三戸麻子	国立成育医療研究センター 女性の健康総合センター プレコンセプションケアセンター 医長
	11:25～12:45	女性内科・妊娠合併症		
	13:45～15:05	社会的ハイリスク妊産婦（特定妊婦）に対する産婦人科施設における多職種連携	鈴木俊治	日本医科大学付属病院 女性生殖発達病態学 大学院教授
	15:20～16:40	生殖医療と女性のこころとからだの支援	山崎圭子	湘南医療大学大学院 教授
8/22 (金)	9:30～10:50	母乳、その支援 ～今私たちに求められていることを考える～	今井晶子	愛育病院 看護部 師長 助産師・看護師
	11:05～12:25	周産期に子どもを亡くした家族へのケア	太田尚子	静岡県立大学看護学部 教授
	13:25～14:45	周産期メンタルヘルスの現状と実践	斎藤知見	クリニック周産期メンタルヘルス科 副部長
	15:00～15:45	グループワーク		

《2025年度 愛育セミナー事業》

恩賜財団母子愛育会は、周産期看護や母子保健分野の人材育成研修を提供しております。また、愛育研究所では、母子の健康・保健や、子育てに関する教育・研究を行っています。これらの活動から、子どもと養育者の支援に携わる専門職の皆様へお伝えしたいテーマを選定し、研修動画として配信を行います。

愛育セミナー 2025年

- 対 象** 母子保健・児童福祉に従事する保健師・助産師・看護師、保育士、社会福祉士
心理士・教員 等
- 料 金** 14,300円（税込）※資料はダウンロード
- 配信期間** 未定（HPにてご案内いたします。）
- そ の 他** 令和7年8月20日（水）に開催する地域母子保健研修会.3「子どもにライフスキルを伝える包括的セクシャリティ教育を学ぶ」研修会をオンデマンド配信いたします。
- 研修内容**

内 容	講 師	
包括的性教育 包括的性教育を、地域で・家庭で・学校で！	高 橋 幸 子	埼玉医科大学 産婦人科医師 医療人育成支援センター 地域医学推進センター助教
プレコン 未来を守る、プレコンセプションケアとは		
まるっとまなブック まるっとまなブックの活用法を考える		
子どもへの性虐待、 性被害の医療者の取り組み	栗 原 八 千 代	聖マリアンナ医科大学小児科 助教

リバイバル配信 2023 年&2024 年 ※団体のみ

1. **概要** 2023 年、2024 年の愛育セミナーから特に好評だったセミナーをセットにして団体向けに配信。配信期間中は同一団体の方であれば人数制限なしでどなたでも視聴可能です。内部研修の一環としてご利用ください。
2. **対象** 母子保健分野、児童家庭分野、児童相談所等に勤務する保健師・助産師・看護師
保育士・心理士・社会福祉士 等
3. **料金** 5 本セットで 22,000 円 (税込)
4. **配信期間** 令和 7 年 5 月 12 日(月)12 時～令和 7 年 12 月 9 日(金)15 時
《申込期間：令和 7 年 4 月 1 日(火)～12 月 1 日(月)》
5. **その他** 期間内であれば何度でも視聴可能です。視聴方法については別途ご案内いたします。

内 容	講 師	
子どもの心の病（発達障害を含む）とその治療・支援の理解「乳幼児の心の発達“児童虐待が奪うもの”」	齊藤 万比古	愛育研究所児童福祉・精神保健研究部部长 愛育相談所所長
心理援助の基本と実際	齋藤 知見	愛育クリニック周産期メンタルヘルス科 副部長
よくかかる病気と予防接種	浦島 崇	愛育病院 小児科 部長
発達特性による困りを抱えた様子への支援Ⅰ	伊藤 康	愛育研究所小児及び母性保健研究部 新生児・小児担当部長
発達特性による困りを抱えた様子への支援Ⅱ		

リバイバル配信 2024《愛育セミナー》

1. **対象** 母子保健分野、児童家庭分野、児童相談所等に勤務する保健師・助産師・看護師
保育士・心理士・社会福祉士 等
2. **料金** 8,800 円 (税込)
3. **配信期間** 令和 7 年 10 月 31 日(金)10 時～令和 8 年 3 月 6 日(金)15 時
《申込期間：令和 7 年 9 月 1 日(月)～令和 8 年 2 月 2 日(月)》
4. **その他** 期間内であれば何度でも視聴可能です。視聴方法については別途ご案内いたします。

内 容	講 師	
心理援助の基本と実際	齋藤 知見	愛育クリニック周産期メンタルヘルス科 副部長
よくかかる病気と予防接種	浦島 崇	愛育病院 小児科 部長
発達特性による困りを抱えた様子への支援Ⅱ	伊藤 康	愛育研究所小児及び母性保健研究部 新生児・小児担当部長

母子愛育会への交通機関

東京メトロ日比谷線「広尾駅」下車、1番または2番出口から徒歩で約8分



社会福祉法人 恩賜財団母子愛育会
総合母子保健センター 研修部

〒106-8580 東京都港区南麻布5丁目6番8号
電話：03-3473-8335 FAX：03-3473-8454
E-mail：kenshu@aiku.or.jp
ホームページ：http://www.boshiaiikukai.jp/